



《学校教育目標》 『感動のある文洋中学校』

## 1学期が終了しました。皆様のご協力に感謝いたします。

## 夏休みが、目標を持って充実した日々となりますように！

本日、1学期の終業式を行いました。新しい元号となった最初の学期でしたが、お子様のご様子はいかがでしたか。本校の学校教育にご支援をいただいた保護者の皆様に、あらためて感謝いたします。本日は、生徒たちに終業式で話したことをお伝えします。

(始めに1学期を振り返っての感想を伝え、続いて目標を持った夏休みの過ごし方について話しました。)

明日から約6週間の長い休みに入ります。宿題や進路へ向けた学習、部活動、体育祭の準備など忙しいとは思いますが、自分で使える時間がたくさんあります。この時間の使い方次第で、2学期以降の生活が充実したものになるかどうかが決まります。

生活に目標を設け、日々過ごしていくことはもちろんのことですが、長期の休みでなければなかなかできないこともあります。普段読めなかった長編の本を読む、長期にわたる観察など、家庭にいる時間が長いからこそ挑戦できることもあるでしょう。「この夏に挑むのはこれだ！」と何か一つ必ず心に決めて下さい。

さて、『挑戦』よく言われるこの言葉について、今日は時代を切り開いたスポーツ選手二人を紹介したいと思います。先日、17才のサッカー選手、久保選手のことが報道されていましたね。

実は、今から30年以上前、サッカーに大きな夢を掲げてブラジルにサッカー留学しようとした少年がいました。彼は当時この気持ちを人に話すと、「おまえでは、99パーセント無理だ。」と言われたそうです。すると、彼はどのように言葉を返したと思いますか。「可能性は1パーセントあるのですね。では、僕はその1パーセントを信じます。」これが、彼の答えでした。

少年の名前は、三浦 知良、日本人で初めてブラジルに渡り、日本のサッカー選手の歴史を塗り替え続け、今も現役最年長の選手です。彼はこういった言葉も残しています。

『常に何かに挑戦していれば、輝きは失われない。』

もう一人は、日本人プロ野球選手として初のメジャーリーグ挑戦を果たした野茂英雄選手です。

野茂選手は、自分で決意して当時在籍していた球団を辞めて、何の保証もないメジャーリーグの世界へ、条件のよくないマイナー契約で飛び込みました。そして、メジャーリーグで日本人初の新人王と最多奪三振を取りました。現在も多くの日本人選手がメジャーリーグに挑戦していますが、その先駆者となったのです。彼の言葉はこうです。

『挑戦せずして、成功はありません。挑戦しないことには始まらないのです。挑戦がすべてのスタートです。』

昔から言います。『玉、磨かざれば光なし』生まれつき才能を持っていても、目標達成に励み、自分を鍛えなければ、立派な人物になるのは難しいというたとえです。

皆さん一人ひとりが、この夏の目標を決めて自分の挑戦をスタートさせ、輝く夏休みとできるよう期待します。充実した夏休みにできるかどうかは、皆さん自身の時間の使い方にかかっています。

2学期には、一回り大きくなった皆さんの元気な姿にあえるよう願って、終業式の言葉とします。



美化ボランティアで心を磨く